



カテゴリ: サステナビリティ

2022年6月13日

航空機廃棄部品を再活用した商品を、横浜高島屋にて期間限定販売

株式会社 JAL エンジニアリング(所在地:東京都大田区、社長:田村亮、以下「JALEC」)は、横浜高島屋と共に、環境省の定める「環境月間(*1)」に合わせ、航空機廃材の再活用を通じた取り組みとして、「空を飛んだ 其のあと」をテーマに商品を企画、製作し、2022年6月15日(水)より横浜高島屋にて期間限定で販売します。

本物の航空機部品ならではの質感に加え、整備士のアイデアを取り入れた商品で、初めての対面販売となります。



①シートカバーコインパース



②シートベルトキーホルダー



③シートカバーバゲージタグ



④747 ブレードキーホルダー



⑤シートカバーサコッシュ



⑥シートカバーペンケース



⑦キャビンウインドウフォトフレーム

【販売概要】

場所: 横浜高島屋 6階 A エスカレーター前イベントスペース

期間: 2022年6月15日(水) ~ 2022年6月28日(火)

内容: 航空機廃材を活用した商品の販売 ※売り切れ次第終了

ディスプレイとして、航空機シートや機内内装(窓、窓枠パネル)の設置
整備士が手作りしたオブジェの展示



【商品紹介】

① シートカバーコインパス

航空機に使用していた国内線シートカバーの廃材を使用して製作しております。1点1点、使用している部位が異なります。ちょっとしたお散歩のお供に、またご旅行のお供にご愛用ください。

② シートベルトキーホルダー

取り卸されたシートベルトと金具を活用したキーホルダーを作りました。皆さまの安全を一番身近で守ってきたシートベルトです。整備士発案のオリジナルデザインです。

③ シートカバーバゲージタグ

廃棄予定だった国内線シートの革をベースに株式会社 龍村美術織物さまの端材を組み合わせ、バゲージタグを作りました。シートの革の質感と美術織物の素晴らしさを手に取って感じていただきたい商品です。

④ 747 ブレードキーホルダー

航空機のエンジンで、高い推進力を得るために取り込んだ空気を圧縮する「コンプレッサー」の部品から製作しました。エンジン整備の中で磨き上げられた整備士の金属加工技術を生かしつつ、部品の質感をそのままお楽しみいただける品です。

⑤ シートカバーサコッシュ

飛行機に使用していた国内線シートカバーの廃材を使用して製作しております。シンプルなデザインで思わず毎日使いたくなるようなサコッシュとなっています。

⑥ シートカバーペンケース

航空機に使用していた国内線シートカバーの廃材を使用して製作しております。1点1点、使用している部位が異なります。個性を持ったペンケースを末永くご愛用ください。

⑦ キャビンウインドウフォトフレーム

実際の航空機の客室窓を使用して製作しています。塗装技術課により、塗装に使用する「マスキング」の技術を活用し、商品化しました。細かな傷が残っている場合がございますが、個性を持ったフォトフレームとしてご使用ください。

JALグループでは、2021年10月より、廃棄される航空機部品を活用した商品の販売を開始し、廃棄物削減とともに空の旅を身近に感じていただける商品づくりを進めており、ライフベスト(救命胴衣)やシートカバーの廃材を活用したポーチやバッグ、アーティスト作品をエンジン部品に転写したアート、コンセプトルーム(*2)の開発など、活用方法の多様化を目指しています。また、横浜高島屋では環境月間に合わせて、エコ&エシカルな暮らしについて、お客さまと一緒に考えるきっかけとなる具体的な“アクション”を示しながら、サステナブルな商品を通してご提案するTSUNAGU ACTION WEEKSを開催していることから、両社の取り組みの方向性が合致し、このたび横浜高島屋の紳士服売り場にて、廃棄される航空機部品に付加価値を加えた商品販売の実施に至りました。

JALECと横浜高島屋は、思い出となる一品となるよう「空を飛んだ そのあと」をテーマに、あらたな廃棄部品の活用方法を提供してまいります。

以上

(*1)環境月間:6月1日からの1カ月間。環境省が主唱する啓発月間で、地球温暖化を始めとする多くの環境問題の解決を目指し、環境保全に対する国民の関心と理解を深めるための啓発活動が行われています。

(*2)2022年4月4日付プレスリリース『航空機部品などを活用して機内の空間を表現したコンセプトルーム「ウイングルーム」を販売』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202204/006615.html>